

令和3年(1～12月)における火災の状況(確定値)

防災情報室

1 総出火件数は、35,222件、前年より531件の増加

令和3年(1～12月)における総出火件数は、35,222件で、前年より531件増加(+1.5%)しています。これは、おおよそ1日あたり96件、15分ごとに1件の火災が発生したことになります。

また、火災種別で見ますと、次表のとおりです。

令和3年(1～12月)における火災種別出火件数

種別	件数	構成比	前年比	増減率
建物火災	19,549	55.5%	184	1.0%
林野火災	1,227	3.5%	▲12	-1.0%
車両火災	3,512	10.0%	46	1.3%
船舶火災	63	0.2%	▲15	-19.2%
航空機火災	0	0.0%	0	-
その他火災	10,871	30.9%	328	3.1%
総火災件数	35,222	100%	531	1.5%

2 総死者数は、1,417人、前年より91人の増加

火災による総死者数は、1,417人で、前年より91人増加(+6.9%)しています。

また、火災による負傷者は、5,433人で、前年より150人減少(-2.7%)しています。

3 住宅火災による死者(放火自殺者等を除く。)数は、966人、前年より67人の増加

建物火災における死者1,165人のうち住宅(一般住宅、共同住宅及び併用住宅)火災における死者は、1,058人であり、更にそこから放火自殺者等を除くと、966人で、前年より67人増加(+7.5%)しています。

なお、建物火災の死者に占める住宅火災の死者の割合は、90.8%で、出火件数の割合55.9%と比較して非常に高いものとなっています。

4 住宅火災による死者(放火自殺者等を除く。)の7割超えが高齢者

住宅火災による死者(放火自殺者等を除く。)966人のうち、65歳以上の高齢者は716人(74.1%)で、前年より71人増加(+11.0%)しています。

また、住宅火災における死者の発生した経過別死者数を、前年と比較しますと、逃げ遅れ472人(24人の増・+5.4%)、着衣着火37人(8人の減・-17.8%)、出火後再進入11人(4人の減・-26.7%)、その他446人(55人の増・+14.1%)となっています。

5 出火原因の第1位は、「たばこ」、続いて「たき火」

総出火件数の35,222件を出火原因別にみると、「たばこ」3,042件(8.6%)、「たき火」2,764件(7.8%)、「こんろ」2,678件(7.6%)、「放火」2,333件(6.6%)、「電気機器」1,816件(5.2%)の順となっています。

問合せ先

消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室
TEL: 03-5253-7526